

マイクロハイファイ コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながる可能性があります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

定期的な点検

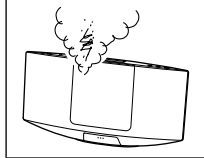
設置時や1年に1度は、ACアダプターに傷みがないか、コンセントとACアダプタープラグの間にほこりがたまっていないか、ACアダプターがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 1 電源を切る。
- 2 ACアダプターをコンセントから抜く。
- 3 お買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号




指示



プラグをコンセントから抜く

目次

 警告 安全のために.....	2
各部の名前と働き.....	12
本機の楽しみかた.....	16

準備

接続する	17
リモコンに電池を入れる	18
“ウォークマン”を本機に接続する	19
時計を合わせる.....	20
オートスタンバイ機能について	20

CDを聞く

CD/MP3ディスクを再生する	22
好きな順に曲を聞く(プログラム再生)	25

“ウォークマン”を楽しむ

“ウォークマン”ご利用の前に	27
“ウォークマン”の再生・録音・削除対応機種について	27
“ウォークマン”の充電について	28
CDを“ウォークマン”に録音する	29
ディスクの全曲をワンタッチで録音する (ワンタッチ録音)	30
録音モードに合わせて手で録音する	31
FM/AMラジオからの放送を“ウォークマン”に録音する	34
外部入力機器からの曲を“ウォークマン”に録音する	36
録音した曲の保存先について	37
フォルダ名とファイル名について	37
“ウォークマン”の曲を聞く	39
録音した曲を聞く	39

“ウォークマン”の曲を削除する	41
削除可能なフォルダ/曲について	41
録音した曲を削除するには	42

その他の操作と設定

ラジオを聞く	44
ラジオ局を受信する	44
ラジオ局を登録する	44
外部機器を接続して聞く	45
音質を調整する	46
表示窓の表示を切り換える	46
タイマーを使う	47
スリープタイマーを設定する	47
再生タイマー／録音タイマーを設定する	47

使用上のご注意・主な仕様

使用上のご注意	50
故障かな？と思ったら	52
メッセージ一覧	58
保証書とアフターサービス	60
主な仕様	61



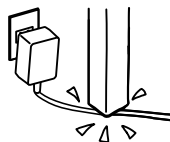
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

ACアダプターを傷つけない

ACアダプターを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込みすぎない。
- ACアダプターを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、ACアダプターを抜く。
- ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜く。

万一、ACアダプターが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所や水のかかる場所、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。



禁止

内部に水や異物が入らないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

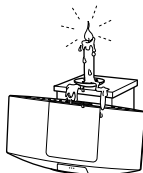
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止

本機の上にローソクを置かない

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。火災の原因となります。



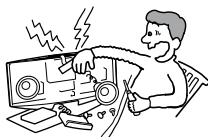
禁止



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

キャビネットを開けたり、 分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーの相談窓口にご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、アンテナ線や ACアダプターに触れない

本機やアンテナ線、ACアダプターなどに触れ
ると感電の原因となります。



本機を日本国外で使わない

交流100Vの電源でお使いください。海外など、
異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感
電の原因となります。



可燃ガスエアゾールやスプレーを 使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使
用すると、モーターやスイッチの接点、静電気
などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や
火災が発生するおそれがあります。



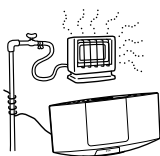
付属のACアダプターについて

付属のACアダプターは本機専用です。他の電
気機器では使用できません。また、他の電気機
器のACアダプターも使用できません。



ガス管にアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置かない

本機およびACアダプターに新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。また、本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



指のケガに
注意

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。

呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

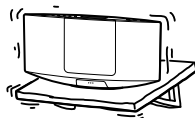
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。



禁止

ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にACアダプターをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、ACアダプターは容易に手の届くコンセントにつないでください。

通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。



指示

コード類は正しく配置する

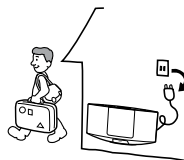
本機に取り付けるACアダプターやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。



禁止

長期間使わないときは、ACアダプターを抜く

長期間使用しないときは安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACアダプターを抜く

ACアダプターを差し込んだままお手入れを
すると、感電の原因となることがあります。



電池についての 安全上のご注意

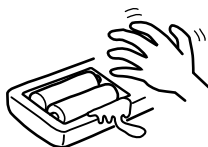
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による
大げがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ず
お守りください。

⚠ 危険

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、
失明やげが、皮膚の炎症の原因となることがあ
ります。液の化学変化により、数時間たってか
ら症状が現れることもあります。



必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐ
に水道水などのきれいな水で充分洗い、ただ
ちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれ
いな水で充分洗い流してください。皮膚の炎
症やげがの症状があるときは、医師に相談し
てください。



警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止

電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

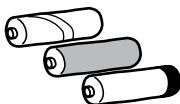
破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

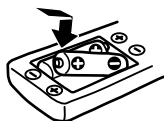


禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆にすると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

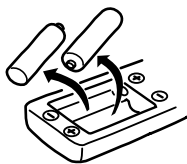
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にたためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

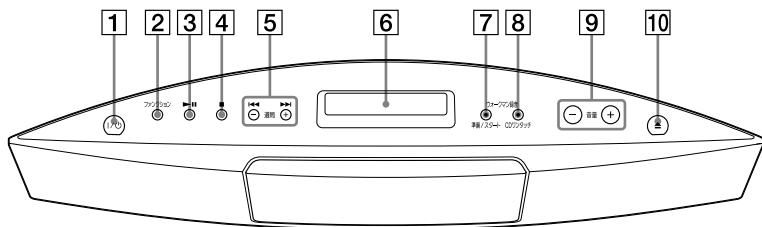
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

商標について

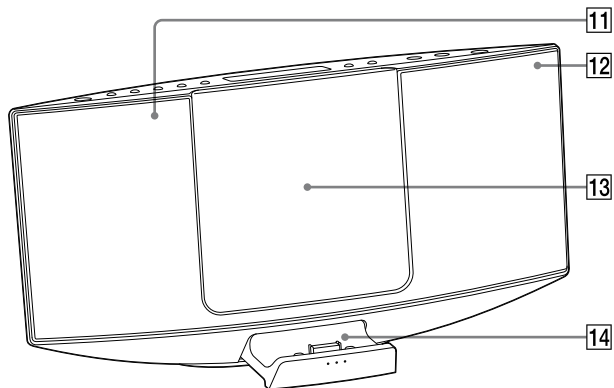
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

各部の名前と働き

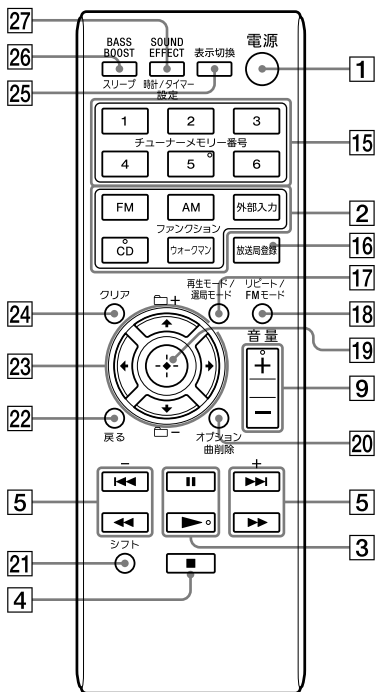
本体(上面)



本体(前面)



リモコン



- 本書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じ働きをします。
- リモコンの20、26、27ボタンには2つの機能が割り当てられています。ピンク色で表示されている「曲削除」、「スリープ」、「時計/タイマー設定」機能を有効にしたい場合は、シフトボタン21を押しながら押してください。シフトボタン21を押さずに20、26、27ボタンを押すと、オプション、BASS BOOST、SOUND EFFECTが有効になります。

1 I/O (電源) ボタン

本機の電源を入/切します。

2 ファンクションボタン

本体：ファンクションボタン

ボタンを押すたびにCD→WALKMAN→FM→AM→AUDIO INの順にファンクションが切り換わりします。

リモコン：FM、AM、外部入力、CD、ウォークマンボタン

切り換えたいファンクションのボタンを押します。

3 再生/一時停止ボタン

本体：▶▶ ボタン

リモコン：▶、▶▶ ボタン

CDやMP3ディスク、「ウォークマン」の曲を再生/一時停止します。

4 ■ (停止) ボタン

- CDやMP3ディスク、「ウォークマン」の曲を停止します。
- 「ウォークマン」への録音を停止します。
- ラジオのオートチューニングを停止します。

5 ラジオ選局/曲操作ボタン

本体：選局+/-、◀◀/▶▶ ボタン

• 選局+/- ボタン

聞きたいラジオ局の周波数や、登録したラジオ局のプリセット番号を選びます。

• ◀◀/▶▶ ボタン

曲の頭出しをします。押している間、曲を早戻し/早送りします。

リモコン：+/-、◀◀/▶▶、◀/▶▶ ボタン

• +/- ボタン

聞きたいラジオ局の周波数や、登録したラジオ局のプリセット番号を選びます。

• ◀◀/▶▶ ボタン

曲を停止中：
次の曲/前の曲を選びます。押している間、連続して曲を選択します。

曲を再生中：
曲の頭出しをします。

• ◀/▶▶ ボタン

曲を早戻し/早送りします。

次のページにつづく ➤

⑥ 表示窓

本機の設定状態などを表示します。

⑦ ウォークマン録音 準備/スタートボタン

CDやMP3ディスク、ラジオ、本機に接続した外部機器からの曲を“ウォークマン”に録音します(32、33、35、36ページ)。

⑧ ウォークマン録音 CDワンタッチボタン

CDやMP3ディスクの全曲をワンタッチで“ウォークマン”に録音します(30、31ページ)。

⑨ 音量+/-ボタン

音量を調節します。

⑩ ▲ (オープン/クローズ)ボタン

CD、MP3ディスクを取り出します(22、23ページ)。

⑪ リモコン受光部

⑫ リモコンランプ

リモコンからの信号を受信したときに点灯します。

⑬ CDスライドドア

CD、MP3ディスクをセットします(22、23ページ)。

⑭ WM-PORTコネクター (“ウォークマン” 接続端子)

別売りの“ウォークマン”を接続します(19ページ)。

⑮ チューナーメモリー番号ボタン

本機に登録したプリセット番号1から6のラジオ局を呼び出します(45ページ)。

⑯ 放送局登録ボタン

ラジオ局をプリセット登録します(45ページ)。

⑰ 再生モード/選局モードボタン

- 再生モードボタン
CD、MP3ディスクの再生モードを選びます(23、25、26、33ページ)。
- 選局モードボタン
ラジオ局の選局モードを切り換えます。ボタンを押すたびに「AUTO」→「PRESET」→「MANUAL」の順に切り換わります(44、45ページ)。

⑱ リピート/FMモードボタン

- リピートボタン
曲を繰り返し聞くとときに使います(23ページ)。
- FMモードボタン
FM放送のステレオ受信、モノラル受信を切り換えます(44ページ)。

⑲ ⊕ (決定)ボタン

操作や設定を確定します。

⑳ オプション/曲削除ボタン

- オプションボタン
“ウォークマン”の操作時に押すと、“ウォークマン”のOPTIONボタンと同じ操作ができます(NW-S764/S765/S766、NW-S764K/S765K、NW-E062/E063、NW-E062K/E063Kのみ(2012年10月現在))。
- 曲削除ボタン
本機に接続した“ウォークマン”の曲やフォルダの削除を開始します。シフトボタン²¹を押しながら曲削除ボタン²⁰を押してください(41、42、43ページ)。

21 シフトボタン

リモコン上に、ピンク色で表示されているボタン名の機能を有効にします。シフトボタン²¹を押しながらピンク色で表示されているボタンを押すと、ピンク色の機能が有効になります。

22 戻るボタン

操作前の状態に戻します。
"ウォークマン"の操作時に押すと、"ウォークマン"のBACKボタンと同じ操作ができます(NW-S764/S765/S766、NW-S764K/S765K、NW-E062/E063、NW-E062K/E063Kのみ(2012年10月現在))。

23 操作ボタン

- **↑/↓ボタン**
項目を選んだり、設定を変更します。
- **←/→ボタン**
項目を選んだり、設定を変更します。
曲を停止中：
次の曲/前の曲を選びます。押している間、連続して曲を選択します。
曲を再生中：
曲の頭出しをします。押している間、曲を早戻し/早送りします。
"ウォークマン"の操作時に押すと、
"ウォークマン"の▲/▼/◀/▶ボタンと同じ操作ができます(NW-S764/S765/S766、NW-S764K/S765K、NW-E062/E063、NW-E062K/E063Kのみ(2012年10月現在))。
- **📁 +/-ボタン**
MP3ディスクのフォルダ(アルバム)を選びます。
"ウォークマン"では、削除したいフォルダを選びます。

24 クリアボタン

プログラムした曲をプログラムから消します(26ページ)。

25 表示切換ボタン

表示窓に表示される内容を切り換えます(20、46ページ)。

26 BASS BOOST /スリープボタン

- **BASS BOOST (バスブースト)ボタン**
バスブースト(低音増強)を「オン」または「オフ」に設定します(46ページ)。
- **スリープボタン**
スリープタイマーを設定します。
シフトボタン²¹を押しながらスリープボタン²⁶を押してください(13、47ページ)。

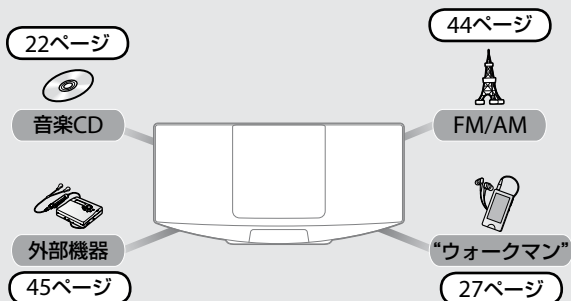
27 SOUND EFFECT /時計/タイマー設定ボタン

- **SOUND EFFECT (サウンドエフェクト)ボタン**
ボタンを繰り返し押して、お好みのサウンド効果を設定します(46ページ)。
- **時計/タイマー設定ボタン**
時計や再生タイマー、録音タイマーを設定します。
シフトボタン²¹を押しながら時計/タイマー設定ボタン²⁷を押してください(13、20、48、49ページ)。

本機の楽しみかた

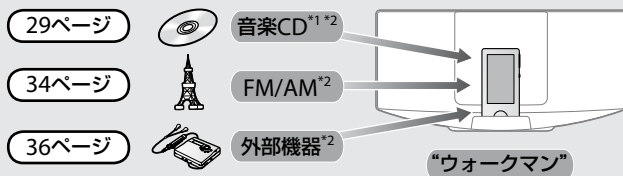
聞く

いろいろな音源から音楽を聞く



録音する

"ウォークマン"に直接録音する

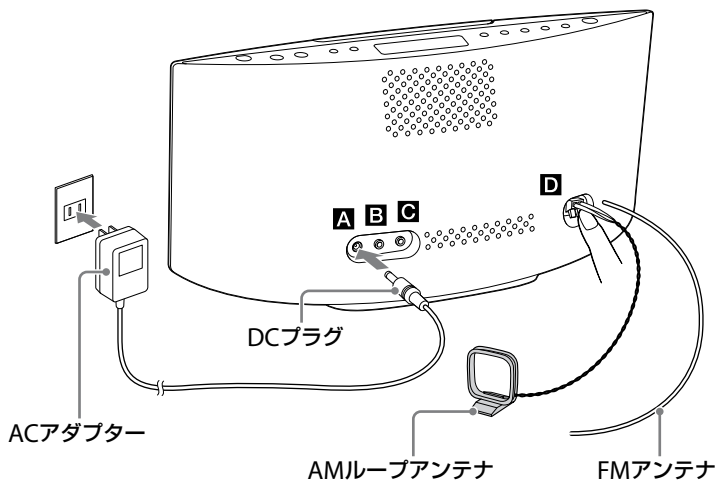


¹ 音楽CDの全曲をワンタッチで"ウォークマン"に録音できます(30ページ)。

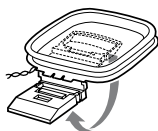
² 音楽CDやラジオ、本機に接続した外部機器からの曲を"ウォークマン"に録音できます(31ページ)。

録音に対応している"ウォークマン"については、「"ウォークマン"の再生・録音・削除対応機種について」(27ページ)をご覧ください。

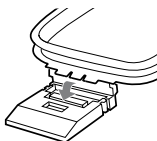
接続する



AMループアンテナをセットするには



アンテナに巻かれて
いるアンテナコード
をほどき、台を起こす



アンテナを起こして
カチッと音がするま
で溝に確実にはめる

A DC入力 9.5 V (電源)

すべての機器を接続したあと、図のようにコンセントにつないでください。

B AUDIO IN (外部入力)端子

別売りのオーディオケーブルを使って外部入力機器を接続します。

C (ヘッドホン)端子

ヘッドホンを接続します。

D アンテナ(FM/AM)

アンテナを接続しないとラジオ放送を受信できません。

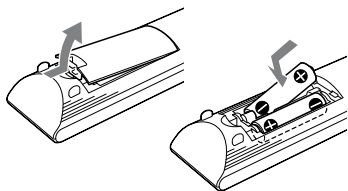
受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。

雑音の原因になるため、AMループアンテナは本体やACアダプター、他のAV機器から離してください。


FMアンテナは、先端をテープなどで固定してください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池(R6、付属) 2個を入れます。イラストのように⊖極側から入れます。



ご注意

- 電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
 - 電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
 - 液漏れたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部  に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。
- 電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい電池に交換してください。

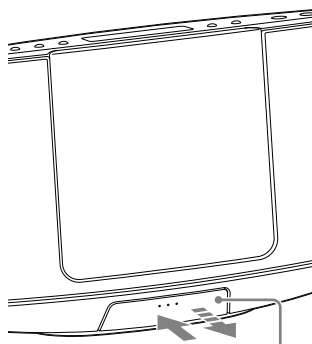
“ウォークマン”を本機に接続する

本機で“ウォークマン”を楽しむときは、“ウォークマン”ドックを開き、WM-PORTコネクタ 14に“ウォークマン”を接続します。

本機はアタッチメントの取り付けは必要ありません。WM-PORTコネクタ 14に“ウォークマン”を直接接続してください。

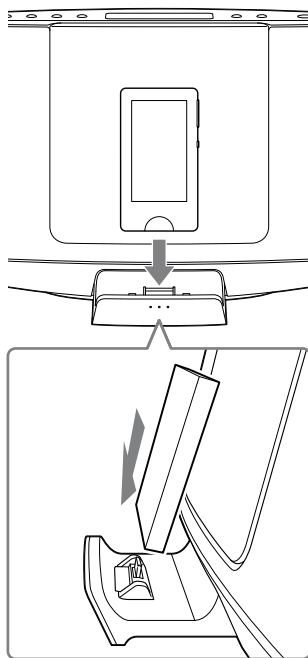
本機が対応する“ウォークマン”については、「“ウォークマン”の再生・録音・削除対応機種について」(27ページ)をご覧ください。

- 1 “ウォークマン”ドックの中央部を押して、“ウォークマン”ドックを開く。



“ウォークマン”ドック

- 2 WM-PORTコネクタ 14に“ウォークマン”を接続する。

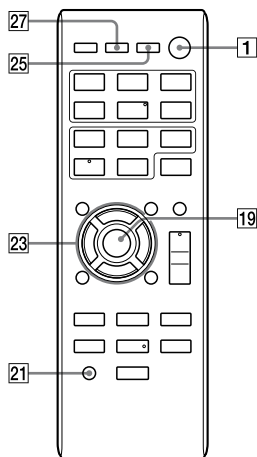


ご注意

“ウォークマン”をはずすときは、本機が転倒しないようご注意ください。

時計を合わせる

リモコンのボタンを使って時計を合わせます。



- 1 I/O (電源) ボタン **1** を押して、電源を入れる。
- 2 シフトボタン **21** を押しながら、時計/タイマー設定ボタン **27** を押す。
 - 「PLAY SET」が点滅するときは、**▲/▼** ボタン **23** を繰り返し押しして「CLOCK」を運び、**+** ボタン **19** を押ししてください。
- 3 **▲/▼** ボタン **23** を繰り返し押しして「時」を合わせ、**+** ボタン **19** を押す。
- 4 「時」と同じ手順で「分」を合わせ、**+** ボタン **19** を押す。

ご注意

停電になったり、ACアダプターが抜け電

源供給がなくなると、時計設定は解除されます。

電源が切れているときに時計を確認するには

表示切換ボタン **25** を繰り返し押しして、時計を表示させます。時計は約8秒間表示されます。

オートスタンバイ機能について

本機にはオートスタンバイ機能がついています。このオートスタンバイ機能によって、無操作または無音の状態が30分経過すると本機は自動的にスタンバイモードに移行します。スタンバイモードに移行するときは、移行する2分前に「AUTO. STBY」が表示されます。

お買い上げ時の初期設定では有効になっていますが、本体のボタンを使ってオートスタンバイ機能を切ることができます。

- 1 本機の電源が入っているときに、「AUTO. STBY OFF」が表示されるまで本体のI/O ボタン **1** を押し続ける。

- オートスタンバイ機能を「オン」にするには、「AUTO. STBY ON」が表示されるまで本体のI/O ボタン **1** を押し続けてください。

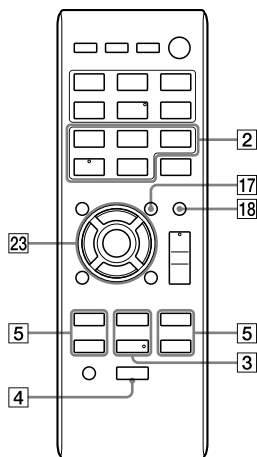
ご注意

- オートスタンバイ機能を有効にしても、FM、AMファンクションをお使いのときは無効となり、スタンバイモードへ移行しません。

- オートスタンバイ機能を有効にしても、次の状態のときにはスタンバイモードへ移行しません。
 - 音声信号を検出したとき。
 - 曲を再生しているとき。
 - 再生タイマー、録音タイマーが動作中のとき。
 - スリープタイマーが動作中のとき。
- オートスタンバイ機能を有効にした状態で次の操作を行うと、オートスタンバイモードへ移行するまでの時間(30分)をリセットして再カウントします。
 - “ウォークマン”を接続したとき。
 - 本体またはリモコンの操作ボタンを押したとき。

CDを聞く

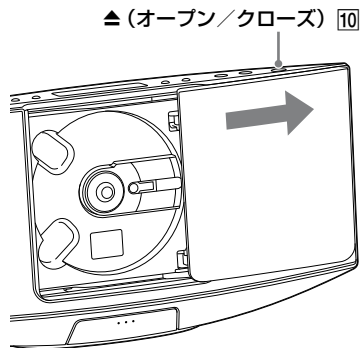
CD/MP3ディスクを再生する



1 CDファンクションボタン²を押す。

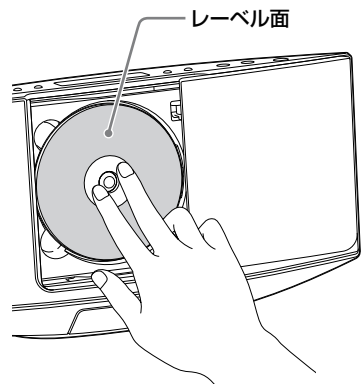
- 本体では、ファンクションボタン²を繰り返し押し続けて表示窓に「CD」を表示させます。

2 本体の△（オープン／クローズ）ボタン¹⁰を押してCDスライドドアを開く。



3 レーベル面を手前にして、ディスクをセットする。

- ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで手で押さえながらセットします。



4 本体の△（オープン／クローズ）ボタン¹⁰を押してCDスライドドアを閉じる。

- 表示窓に「READING」が点滅します。

5 ▶ ボタン³を押す。

- 本体では、▶|| ボタン³を押します。



ディスクを取り出すには

ディスクの再生が停止している状態で、本体の▲（オープン/クローズ）ボタン[10]を押してCDスライドドアを開きます。
ディスクの中心付近を押さえないが、ディスクの端からゆっくりと取り出します。

ご注意

- CDスライドドアが開いた状態で一定時間が経過すると、本機は自動的にCDスライドドアを閉じます。
- 特殊な形状（ハート型、カード型、星型など）のディスクを挿入しないでください。内部でディスクが落ち込み、修復不能な損傷を本機に与えるおそれがあります。
- CDスライドドアが開いた状態でI/Oボタン[1]を押すと、本機は自動的にCDスライドドアを閉じます。
- テープやシールの貼られたディスク、接着剤ののりが付着したディスクなどは、故障するおそれがあるため、本機では使わないでください。
- ディスクを取り出すときは、記録面に触れないようご注意ください。

その他の操作

こんなときは	操作
一時停止する	■ボタン[3]（本体では▶■ボタン[3]）を押す。もう一度押すと再生を再開します。
再生を止める	■ボタン[4]を押す。
曲を選ぶ	◀◀/▶▶ボタン[5] または◀/▶ボタン[23] を押す。
曲中の聞きたい部分を探す	再生中に◀◀/▶▶ボタン[5]（本体では◀◀/▶▶ボタン[5]）、または◀/▶ボタン[23] を押し続け、聞きたいところで指を離す。
曲を繰り返し聞く	リピートボタン[18]を繰り返し押して、「◀◀」（全曲リピート再生）または「▶▶」（1曲リピート再生）を点灯させる。
MP3ディスク内のフォルダを選ぶ	◻ +/-ボタン[23]を繰り返し押す。
ディスクを取り出す	本体の▲ボタン[10]を押す。

再生モードを変えるには

ディスクの停止中に再生モードボタン[17]を繰り返し押して、再生モードを切り換えます。再生モードは、以下のとおり切り換わります。

ノーマル再生（「なし」または「FLDR」点灯*）→シャッフル再生（「SHUF」または「FLDR SHUF」点灯*）→プログラム再生（「PGM」点灯）





- * 「FLDR」または「FLDR SHUF」を選択しているときは、MP3ディスク内の選択したフォルダ(アルバム)を再生対象にします。このとき、フォルダ内の全曲が再生されます。

CD (CD-DAディスク)が再生対象のときは、ディスク内にフォルダが存在しないため、「FLDR」、「FLDR SHUF」を選んでもフォルダ機能は動きません。「FLDR」を選んだ場合はノーマル再生、「FLDR SHUF」を選んだ場合はシャッフル再生します。

「PUSH STOP」が表示されたときは
再生中は再生モードの変更はできません。停止してから再生モードを変更してください。

リピート再生についてのご注意

- 「」は、再生を停止するまで全曲を繰り返し再生します。
- 「」は、再生を停止するまで再生中の1曲だけを繰り返し再生します。

シャッフル再生についてのご注意

- 「SHUF」は、ディスク内の全ての曲をシャッフル再生します。「FLDR SHUF」は、選択しているフォルダ内の曲をシャッフル再生します。
- 本機の電源を切ると、選択していたシャッフル再生モード(「SHUF」または「FLDR SHUF」)はリセットされ、ノーマル再生(「なし」または「FLDR」)モードとなります。

MP3ディスクについてのご注意

- MP3ディスク作成の際には、不要なフォルダやファイルをMP3ファイルといっしょに記録しないでください。
- フォルダ内にMP3ファイルが存在しない場合は、このフォルダは表示されません。
- ファイル名に「.mp3」の拡張子を持つ

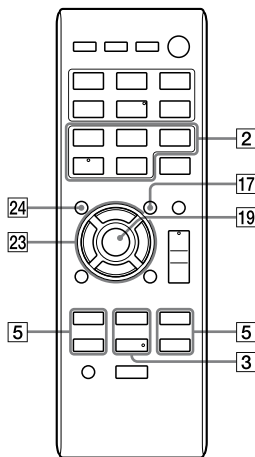
オーディオファイルのみが再生対象となります。

- ファイル名に「.mp3」の拡張子を持っていても、MP3形式のオーディオファイルでない場合には再生されません。このようなファイルの再生は、大音量のノイズとなり、本機の故障の原因となることがあります。
- MP3ディスクに対する本機の上限は次のとおりです。
 - 最大フォルダ数：255* (ルートフォルダ含む)
 - 最大ファイル数：512
 - 1つのフォルダ内で認識可能な最大ファイル数：512
 - 認識可能な最大階層(フォルダ)レベル：16
- 本機は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェア、CD-R/RWドライブ、使用メディアなど、MP3ディスクの作成に必要な機器やソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したMP3ディスクが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れる、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。
- * フォルダ構成によっては本機で認識できるフォルダ数が少なくなる場合があります。

好きな順に 曲を聞く

(プログラム再生)

リモコンのボタンを使ってプログラム登録をします。



1 CDファンクションボタン②を押す。

- 本体では、ファンクションボタン②を繰り返し押し表示窓に「CD」を表示させます。

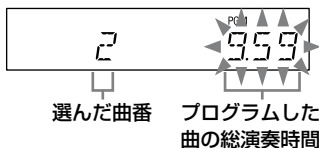
2 停止中に再生モードボタン⑱を繰り返し押しして「PGM」を点灯させ、プログラム再生モードを選ぶ。

3 フォルダを選ぶ(MP3ディスクのみ)。

- +/- ボタン⑳を繰り返し押しして、プログラムしたいフォルダを選びます。

4 曲を選ぶ。

- ボタン㉑を繰り返し押しして、プログラムしたい曲を選びます。
- MP3ディスクの場合：フォルダ内の曲をまとめてプログラムに登録することはできません。フォルダ内の曲をすべてプログラムに登録したい場合は、1曲ずつ選びます。



- 表示窓の右側に表示される総演奏時間には、現在選んだ曲の総演奏時間も含まれます。

5 ⊕ボタン⑲を押す。

選んだ曲がプログラムに登録されます。

- プログラムした曲の総演奏時間が100分を超える場合や、MP3ファイルプログラムした場合には「-- --」と表示されます。

6 手順3～5を繰り返してプログラムする。

- 最大25曲までプログラムできます。

「FULL」が表示されたときは
26曲目に登録しようとしています。「プログラムを消すには」(26ページ)をご覧ください、プログラムを消してから登録し直してください。

7 ▶ボタン③を押す。

プログラム再生が始まります。

- 本体では、▶|| ボタン③を押します。
- 登録したプログラムは、ディスクを取り出したり、ACアダプターを抜かない限り保持されます。
- プログラム再生後、同じプログラムを再生するには、▶ ボタン③を押します。

プログラム再生を中止するには

停止中に、「PGM」が消えるまで再生モードボタン¹⁷を繰り返し押します。

プログラムを消すには

停止中にクリアボタン²⁴を押します。ボタンを押すたびに、最後にプログラム登録した曲が消えます。

登録していたプログラムをすべて消去すると、「NO STEP」が表示されます。▶ ボタン³を押すと、プログラム再生モードからノーマル再生モードに切り換わります。

“ウォークマン”を楽しむ

“ウォークマン”ご利用の前に

対応機種以外の“ウォークマン”は使用しないでください。対応機種以外の機種の動作は保証しておりません。

“ウォークマン”の再生・録音・削除対応機種について

動作確認済み機種(2012年10月現在)

シリーズ	機種名	再生	録音	削除
Zシリーズ	NW-Z1050/Z1060/Z1070	○	○	○
Fシリーズ	NW-F805/F806/F807 NW-F805K/F806K NW-F805BT	○	○	○
Aシリーズ	NW-A855/A856/A857 NW-A865/A866/A867	○	○	○
Sシリーズ	NW-S754/S755/S756 NW-S754K/S755K NW-S764/S765/S766 NW-S764K/S765K NW-S764BT NW-S774/S775/S776 NW-S774K/S775K NW-S774BT	○	○	○
Eシリーズ	NW-E052/E053 NW-E052K/E053K NW-E062/E063 NW-E062K/E063K	○	○	○

最新の対応機種については、下記ホームページの機種別サポートをご覧ください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/>

ご注意

表に記載されている動作確認済み機種(2012年10月現在)より以前に製造された機種については、録音、削除には対応しておりません。

ご注意

- “ウォークマン”をフォーマットするときには、“ウォークマン”本体の機能(メモリーの初期化機能)を使ってフォーマットしてください。他の方法でフォーマットした場合、本機からの録音が行えないなどの不具合が発生するおそれがあります。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は“ウォークマン”の動作のすべてを保証するものではありません。
- 本機に“ウォークマン”を接続するときは、「データベース作成中」の表示が“ウォークマン”の表示窓から消えていることを確認してから接続してください。
- 録音中や削除中に、本機から“ウォークマン”をはずさないでください。“ウォークマン”のデータが破損したり、“ウォークマン”本体が故障するおそれがあります。
- お使いの“ウォークマン”の機種によっては、本機の操作に対する反応が遅れる場合があります。
- 次のケースでは、録音できません。
 - ー 録音に必要な空き容量がない
 - ー 最大フォルダ数：300を超えた場合 (MP3ファイルが存在するプリインストールフォルダを含む)
 - ー 最大ファイル数：3000を超えた場合 (MP3ファイルのみ)
 - ー 1つのフォルダ内で認識可能な最大ファイル数：99を超えた場合 (CD-DAディスクのREC ALLモードのとき)
パソコンから“ウォークマン”にドラッグアンドドロップで転送したMP3形式の曲や本機から録音した曲が対象になります。
これらファイル数、フォルダ数の上限は、“ウォークマン”の階層構造の状態によって異なります。そのため、不要なフォルダやファイルは“ウォークマン”に保存しないでください。

“ウォークマン”の充電について

本機は、本機の電源が入/切どちらの状態でも“ウォークマン”をWM-PORTコネクタ 14に接続すると、自動的に充電を開始します。

本機の電源がオフのとき、“ウォークマン”充電中は表示窓に「CHARGING」が表示されます。

“ウォークマン”の充電に関するご注意

- 本機で“ウォークマン”を充電中、“ウォークマン”本体の画面表示が消える場合があります。画面表示が消えても“ウォークマン”への充電は継続しています。
- オートスタンバイ機能を「オン」に設定している場合、無操作や無音の状態が30分経過すると、“ウォークマン”の充電を続けながら本機はスタンバイモードに移行します。

CDを“ウォークマン”に録音する

CD-DAディスクまたはMP3ディスクの曲を、“ウォークマン”へ録音することができます。

本体のボタンを使って、ディスクの全曲をワンタッチで録音したり、録音モードによって手動で録音することができます。高速で録音するため録音中は音声を再生できません。

録音に対応している“ウォークマン”については、「「ウォークマン」の再生・録音・削除対応機種について」(27ページ)をご覧ください。

ご注意

- 本機から“ウォークマン”へ録音する前に、“ウォークマン”のHOLDを解除してください。HOLDの解除のしかたについては、“ウォークマン”に付属されている取扱説明書をご覧ください。
- 「NO SUPPORT」と表示されたときは、お使いの“ウォークマン”は本機での録音に対応していません。対応機種については、27ページをご覧ください。
- CD-DAディスクから録音した場合、タイトルはつきません。ファイル名に通し番号がつけます。詳しくは「フォルダ名とファイル名について」(37ページ)をご覧ください。
- 本機では、“ウォークマン”内の曲のタイトルなどの変更はできません。

ちょっと一言

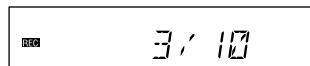
- 録音した曲の保存先については、「録音した曲の保存先について」(37ページ)をご覧ください。
- CD-DAディスクが音源のときは、録音した曲はMP3形式(ビットレートは128kbps)に変換されます。MP3ディスクが音源のときは、録音後のフォーマッ

トもMP3形式になります(ビットレートも音源と同じ)。

- 録音に必要な“ウォークマン”の空き容量は、CD-DAディスクから録音する場合、1分あたり約1MBが目安になります。MP3ディスクから録音する場合には、より多くの空き容量が必要となることがあります。空き容量は、“ウォークマン”で確認することができます。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

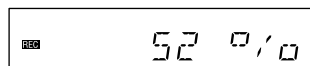
録音中の表示について

本機から“ウォークマン”へ録音中、録音モードやディスクの種類によって以下の表示が表示窓に表示されます。

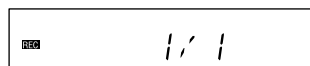


①

②



③

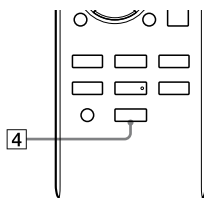


④

REC ALLモード	
CD-DAディスクの場合	
①	録音中のトラック番号
②	録音する総トラック数
③	現在録音しているトラックの録音進捗(%)
MP3ディスクの場合(ノーマルモード)	
①	録音中のフォルダ番号
②	録音する総フォルダ数
③	現在録音しているフォルダの録音進捗(%)
MP3ディスクの場合(フォルダモード)	
①	録音中のトラック番号
②	現在のフォルダの総トラック数
③	現在録音しているトラックの録音進捗(%)
REC1モード(CD-DA/MP3ディスク共通)	
④	録音する総トラック数
③	現在録音しているトラックの録音進捗(%)
PGMモード(CD-DA/MP3ディスク共通)	
①	録音中のステップ番号
②	録音する総ステップ数
③	現在録音しているステップの録音進捗(%)

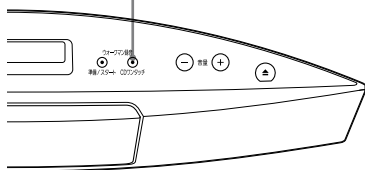
ディスクの全曲をワンタッチで録音する(ワンタッチ録音)

CD-DAディスク、MP3ディスク内に保存されている曲すべてをワンタッチで“ウォークマン”に録音できます。ウォークマン録音CDワンタッチボタン [8] を押すと、本機はCDファンクションに切り換わり、自動で録音を開始します。



4

8



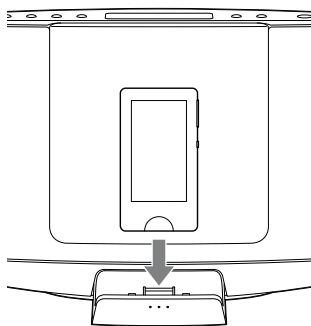
1 ディスクを本機にセットする。

- ディスクのセットのしかたについては、「CD/MP3ディスクを再生する」(22ページ)の手順2から4を行ってください。

2 “ウォークマン”のHOLDを解除する。

- “ウォークマン”のHOLDの解除については、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

- 3 “ウォークマン”をWM-PORT
コネクター [14]に接続する。



- 4 本体のウォークマン録音 CD
ワンタッチボタン [8]を押す。

ファンクションが「CD」に切り換わり、表示窓に「REC ALL」が点滅します。

しばらくすると「REC >>> WM」が表示され、録音が始まります。

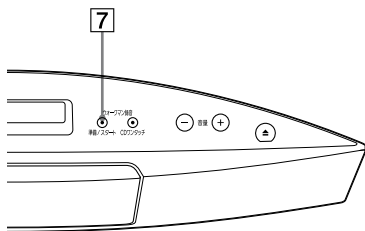
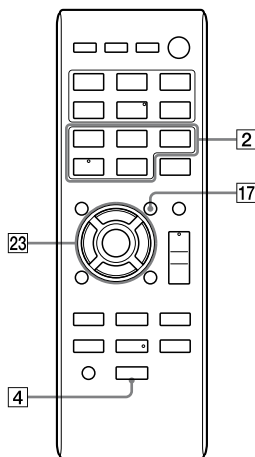
- 録音が完了すると、“ウォークマン”へのアクセスは自動的に停止します。

録音を途中で止めるには

- ボタン [4]を押します。

録音モードに合わせて 手動で録音する

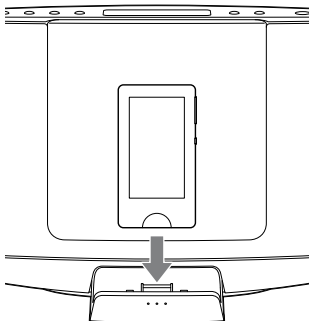
本機の録音モードには、ディスクの全曲をまとめて“ウォークマン”へ録音する「REC ALLモード」、再生中の曲を“ウォークマン”へ録音する「REC1モード」、お好みの曲を録音する「REC PGMモード」の3種類があります。



ウォークマンを楽しむ

ディスクの全曲を録音する (REC ALLモード)

- 1 ディスクを本機にセットする。
 - ディスクのセットのしかたについては、「CD/MP3ディスクを再生する」(22ページ)の手順2から4を行ってください。
- 2 “ウォークマン”のHOLDを解除する。
 - “ウォークマン”のHOLDの解除については、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 3 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクター [14]に接続する。



- 4 CDファンクションボタン[2]を押す。
 - 本体では、ファンクションボタン[2]を繰り返し押し表示窓に「CD」を表示させます。
- 5 本体のウォークマン録音 準備/スタートボタン[7]を押す。

表示窓に「REC ALL」が表示され、本機は録音準備状態に切り換わります。しばらくすると、「PUSH START」が表示されます。

- 6 ウォークマン録音 準備/スタートボタン[7]を押す。

表示窓に「REC >>> WM」が表示され、1曲目から録音が始まります。

 - 録音中に表示窓に表示される情報については、「録音中の表示について」(30ページ)をご覧ください。
 - 録音が完了すると、“ウォークマン”へのアクセスは自動的に停止します。

録音を途中で止めるには

- ボタン[4]を押します。

再生中の曲だけを録音する (REC1モード)

- 1 ディスクを本機にセットする。
 - ディスクのセットのしかたについては、「CD/MP3ディスクを再生する」(22ページ)の手順2から4を行ってください。
- 2 “ウォークマン”のHOLDを解除する。
 - “ウォークマン”のHOLDの解除については、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 3 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクター [14]に接続する。
- 4 CDファンクションボタン[2]を押す。
 - 本体では、ファンクションボタン[2]を繰り返し押し表示窓に「CD」を表示させます。
- 5 録音したい曲を再生する。
- 6 本体のウォークマン録音 準備/スタートボタン[7]を押す。

表示窓に「REC1」が表示され、本機は録音準備状態に切り換わります。

しばらくすると、「PUSH START」が表示されます。

7 ウォークマン録音 準備/スタートボタン $\text{\textcircled{7}}$ を押す。

表示窓に「REC >>>WM」が表示され、再生中の曲の先頭に戻って録音が始まります。

- 録音中に表示窓に表示される情報については、「録音中の表示について」(30ページ)をご覧ください。
- 録音が完了すると、「ウォークマン」へのアクセスが自動的に停止します。

録音を途中で止めるには

■ボタン $\text{\textcircled{4}}$ を押します。

お好みの曲だけを録音する (REC PGMモード)

プログラム登録した曲のみを「ウォークマン」に録音することができます。

1 ディスクを本機にセットする。

- ディスクのセットのしかたについては、「CD/MP3ディスクを再生する」(22ページ)の手順2から4を行ってください。

2 “ウォークマン”のHOLDを解除する。

- “ウォークマン”のHOLDの解除については、「ウォークマン」の取扱説明書をご覧ください。

3 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクター $\text{\textcircled{14}}$ に接続する。

4 CDファンクションボタン $\text{\textcircled{2}}$ を押す。

- 本体では、ファンクションボタン $\text{\textcircled{2}}$ を繰り返し押して表示窓に「CD」を表示させます。

5 お好みの曲をプログラム登録する。

「好きな順に曲を聞く」(25ページ)の手順2～6を行ってください。

6 本体のウォークマン録音 準備/スタートボタン $\text{\textcircled{7}}$ を押す。

表示窓に「REC PGM」が表示され、本機は録音準備状態に切り換わります。しばらくすると、「PUSH START」が表示されます。

7 ウォークマン録音 準備/スタートボタン $\text{\textcircled{7}}$ を押す。

表示窓に「REC >>> WM」が表示され、プログラムした曲の録音が始まります。

- 録音中に表示窓に表示される情報については、「録音中の表示について」(30ページ)をご覧ください。
- 録音が完了すると、「ウォークマン」へのアクセスが自動的に停止します。

録音を途中で止めるには

■ボタン $\text{\textcircled{4}}$ を押します。

MP3ディスクの特定のフォルダを録音対象にするには

「REC ALL」モードで録音します。

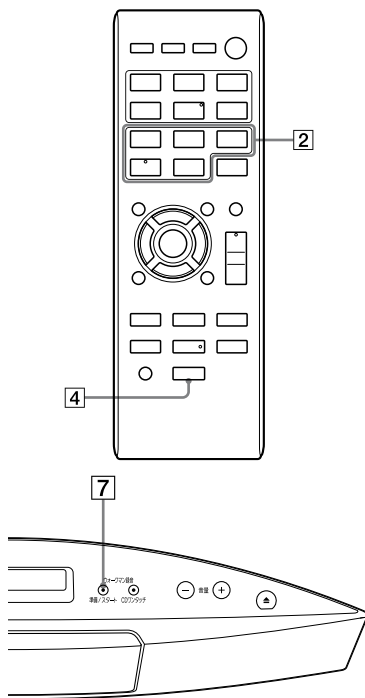
- 「ディスクの全曲を録音する (REC ALL モード)」(32ページ)の手順1から4の操作を行う。
- 再生モードボタン $\text{\textcircled{17}}$ を繰り返し押して、フォルダモード (FLDR点灯) を選ぶ。
- $\text{\textcircled{1}}$ + / ボタン $\text{\textcircled{23}}$ を繰り返し押して、フォルダを選ぶ。
- 「ディスクの全曲を録音する (REC ALL モード)」(32ページ)の手順5、6の操作を行う。
 - 録音中に表示窓に表示される情報については、「録音中の表示について」(30ページ)をご覧ください。
 - 録音が完了すると、「ウォークマン」へのアクセスが自動的に停止します。

こんな表示が出たときは

- 「DEVICE ERROR」が表示されたときは、「ウォークマン」を本機から抜き、再び接続し直してください。
- 「NoDEVICE」が表示されたときは、「ウォークマン」が接続されていません。「ウォークマン」を本体のWM-PORTコネクター [14]に接続してください。
- 「DEVICE FULL」が表示されたときは、「ウォークマン」の空き容量がありません。
- 「FOLDER FULL」が表示されたときは、録音可能なフォルダ数が上限に達しています。
- 「TRACK FULL」が表示されたときは、録音可能なファイル数が上限に達しています。
- 「REC ERROR」が表示されたときは、録音を開始していないか、録音が正常に行われていません。「故障かな?と思ったら」の「ウォークマン」の項目(54～56ページ)をご覧ください。
- 「FATAL ERROR」は、録音中に「ウォークマン」を取りはずしたときに表示されます。録音中に「ウォークマン」を取りはずさないでください。「ウォークマン」のデータが破損したり、「ウォークマン」本体が故障するおそれがあります。

FM/AMラジオからの放送を“ウォークマン”に録音する

ラジオ局からの放送を“ウォークマン”に録音します。録音中もラジオからの放送を聞くことができます。



1 “ウォークマン”のHOLDを解除する。

- “ウォークマン”のHOLDの解除については、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

2 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクター [14]に接続する。

3 FMファンクションボタン [2]、またはAMファンクションボタン [2]を押して、ラジオバンドを選ぶ。

- 本体では、ファンクションボタン [2] を繰り返し押し、表示窓に「TUNER FM」または「TUNER AM」を表示させます。

4 録音したいラジオ局を受信する。

- ラジオ局の受信のしかたについて詳しくは、「ラジオを聞く」(44ページ)をご覧ください。

5 本体のウォークマン録音 準備 / スタートボタン [7]を押す。

表示窓に「REC」が表示され、本機は録音準備状態に切り換わります。しばらくすると、「PUSH START」が表示されます。

6 ウォークマン録音 準備/スタートボタン [7]を押す。

「REC >>> WM」が表示され、録音が始まります。

録音を止めるには

■ ボタン [4]を押します。

新しいトラックを作るには

録音中にウォークマン録音 準備/スタートボタン [7]を押すと録音が一時停止し、表示窓に“NEW TRK”が2秒間表示され、新しいトラックを作成します。一時停止の間は録音が途切れず。また、60分ごとに自動的にトラックマークがつき、新しい曲として録音されます。

ご注意

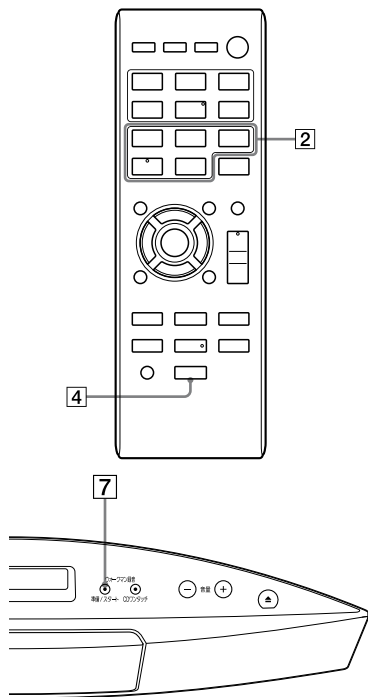
“ウォークマン”に保存されている曲やファイル数が多い場合、本機のウォークマン録音 準備/スタートボタン [7]を押してから録音が始まるまで、時間がかかる場合があります。

録音したい放送の開始時間より充分前に、本機を録音準備状態(手順5: 表示窓に「PUSH START」が表示されている状態)にしてください。

外部入力機器からの曲を“ウォークマン”に録音する

外部入力端子に接続した機器からの曲を“ウォークマン”に録音します。録音中も外部入力機器からの音声を聞くことができます。

外部機器の接続方法については「接続する」(17ページ)をご覧ください。



1 “ウォークマン”のHOLDを解除する。

- “ウォークマン”のHOLDの解除については、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

2 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクター [14]に接続する。

3 外部入力ボタン[2]を押す。

- 本体では、ファンクションボタン[2]を繰り返し押し、表示窓に「AUDIO IN」を表示させます。

4 本体のウォークマン録音 準備 / スタートボタン[7]を押す。

表示窓に「REC」が表示され、本機は録音準備状態に切り換わります。しばらくすると、「PUSH START」が表示されます。

5 ウォークマン録音 準備 / スタートボタン[7]を押す。

「REC >>> WM」が表示され、録音が始まります。

6 外部機器の再生を始める。

録音を止めるには

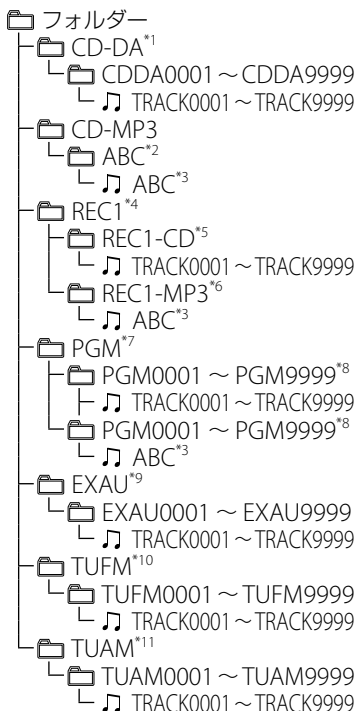
- ボタン[4]を押します。

新しいトラックを作るには

録音中にウォークマン録音 準備 / スタートボタン[7]を押すと録音が一時停止し、表示窓に“NEW TRK”が2秒間表示され、新しいトラックを作成します。一時停止の間は録音が途切れます。また、60分ごとに自動的にトラックマークがつき、新しい曲として録音されます。

録音した曲の保存先について

本機で録音した曲は、「ウォークマン」の「ミュージック」→「フォルダー」の中に保存されます。音源の種類や録音モードによって以下のように保存されます。



- ¹ CD-DAディスクから録音したアルバム/曲を保存
² MP3ディスクから録音したフォルダ(音源と同じフォルダ名を表示)
³ MP3ディスクから録音したファイル(音源と同じファイル名を表示)
⁴ REC1モードで録音した曲を保存

- ⁵ REC1モードで録音したCD-DAディスクの曲を保存
⁶ REC1モードで録音したMP3ディスクの曲を保存
⁷ REC PGMモードで録音した曲を保存
⁸ REC PGMモードで録音したプログラムごとにフォルダを生成
⁹ 外部入力から録音した曲を保存
¹⁰ FMラジオから録音した曲を保存
¹¹ AMラジオから録音した曲を保存

ちょっと一言

CD-DAディスクから録音した場合など、アルバム情報やアーティスト情報がない録音データは、「ウォークマン」の「アルバム」や「アーティスト」などでは「不明」に分類されます。

フォルダ名とファイル名について

「ウォークマン」へ録音すると、「ウォークマン」内の「フォルダー」には以下の命名ルールに従ってフォルダとMP3ファイルが生成されます。

ワンタッチ録音 / REC ALLモード時

	MP3	CD-DA
保存先	CD-MP3 ¹⁾	CD-DA ¹⁾
フォルダ名	音源と同じ ²⁾	CDDA0001 ³⁾
ファイル名		TRACK0001 ⁴⁾

REC1モード時

	MP3	CD-DA
保存先	REC1 ¹⁾	REC1 ¹⁾
フォルダ名	REC1-MP3 ¹⁾	REC1-CD ¹⁾
ファイル名	音源と同じ ²⁾	TRACK0001 ⁵⁾

REC PGMモード時

	MP3	CD-DA
保存先	PGM ¹⁾	PGM ¹⁾
フォルダ名	PGM0001 ³⁾	
ファイル名	音源と同じ ²⁾	TRACK0001 ⁶⁾

FM / AMラジオ、外部入力からの録音

	外部入力	FM	AM
保存先	EXAU ¹⁾	TUFM ¹⁾	TUAM ¹⁾
フォルダ名	EXAU0001 ³⁾	TUFM0001 ³⁾	TUAM0001 ³⁾
ファイル名	TRACK0001 ⁵⁾		

¹⁾ 最初に録音を実行したときにディスクの種類／音源に合わせて生成されるフォルダです。

²⁾ MP3ディスク内のフォルダ名、ファイル名と同じ名前が表示されます(ID3タグ、ビットレート含む)。同じフォルダ名／ファイル名が録音された場合は、後から録音したフォルダ名／ファイル名の最後に(002)～(999)までの番号が付加されます。

³⁾ フォルダ番号が0001から9999まで連番で割り振られます。フォルダの最大数は300です。

⁴⁾ ファイル番号が0001から9999まで連番で割り振られます。ファイルの最大数は99です。

⁵⁾ ファイル番号が0001から9999まで連番で割り振られます。ファイルの最大数は3000です。

⁶⁾ ファイル番号が0001から9999まで連番で割り振られます。ファイルの最大数は25です。

ご注意

- “ウォークマン”がデータベースの更新中のときは、更新が終わるまで本機に接続しないでください。
- フォルダは最大300まで認識します。
- REC ALLモードでの録音時は、シャッフル再生またはリピート再生は自動的に解除され、ノーマル再生になります。
- CD-TEXT情報を持つCD-DAトラックが音源の場合、録音後のMP3ファイルにCD-TEXT情報は含まれません。

- CD-DAまたはMP3ディスクからの録音を途中で止めると、曲の途中まで録音された不完全なファイルが生成されます。

- 次のような条件下では、録音は自動的に停止します。

- 録音中に“ウォークマン”の空き容量がなくなった。

- “ウォークマン”に録音できるフォルダ数または曲数が本機の仕様の上限に達した。

- 録音時に“ウォークマン”に同名のフォルダやファイルが存在するときは、生成時のフォルダまたはファイルの名前の最後に、連番が追加されます。このため、もともとあったフォルダやファイルが上書きされることはありません。

ちょっと一言

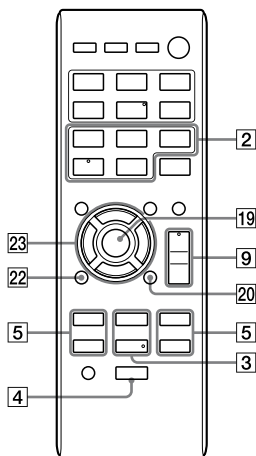
本機で録音したファイル名、トラック名はパソコンで編集可能です。

“ウォークマン”の曲を聞く

別売りの“ウォークマン”を本機と接続することで、“ウォークマン”の音楽や音声データを聞くことができます。

また、“ウォークマン”を本機に接続した状態で、“ウォークマン”側の再生モードを設定すると、“ウォークマン”で設定した再生モードを本機でも再生することができます。

再生に対応している“ウォークマン”については、「“ウォークマン”の再生・録音・削除対応機種について」(27ページ)をご覧ください。



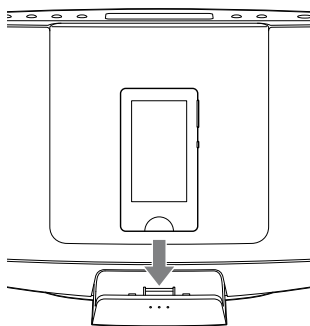
1 ウォークマンファンクションボタン②を押す。

- 本体では、ファンクションボタン②を繰り返し押して表示窓に「WALKMAN」を表示させます。

- “ウォークマン”を接続する前に、“ウォークマン”のホームメニューで「ミュージック」や「ポッドキャスト」など、ライブラリを選んで曲を再生し、停止状態にしてください。

2 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクター⑭に接続する。

- “ウォークマン”で再生モードを設定することで、設定した再生モードで再生できます。再生モードの設定は、“ウォークマン”が本機に接続された状態で行ってください。



3 ▶ボタン③を押して、再生を開始する。

- 本体では、▶||ボタン③を押します。

録音した曲を聞く

一度“ウォークマン”を本機から取りはずし、録音した曲を“ウォークマン”で再生してください。再生を停止してから“ウォークマン”を本機に接続し、本機を操作して再生してください。録音した曲を“ウォークマン”で再生するには、「録音した曲の保存先について」(37ページ)をご覧ください。録音した曲を選んでください。

次のページにつづく ➤

その他の操作

本体またはリモコンのボタンを使って以下の操作ができます。

こんなときは 操作

一時停止する **||**ボタン³⁾ (本体では**▶||**ボタン³⁾、または**■**ボタン⁴⁾を押す。再生を再開するには、**▶**ボタン³⁾または**||**ボタン³⁾ (本体では**▶||**ボタン³⁾を押す。

曲を選ぶ、オーディオブックやポッドキャストデータのチャプターを選ぶ **◀◀/▶▶**ボタン⁵⁾を押す。

曲中の聞きたい部分を探す、オーディオブックやポッドキャストデータの聞きたい部分を探す 再生中に**◀◀/▶▶**ボタン⁵⁾ (本体では**◀◀/▶▶**ボタン⁵⁾) を押し続け、聞きたいところで指を離す。

"ウォークマン"の表示窓で、メニュー項目や再生する曲を選ぶ²⁾ **▲/▼/◀/▶**ボタン²³⁾を押す。

"ウォークマン"の表示窓で、リスト画面の次の画面に進んだり、曲の再生を始める²⁾ **⊕**ボタン¹⁹⁾を押す。

こんなときは 操作

"ウォークマン"の表示窓で、リスト画面の前の画面に戻る²⁾ 戻るボタン²²⁾を押す。

"ウォークマン"の表示窓にオプションメニューを表示する²⁾ オプションボタン²⁰⁾を押す。

¹⁾ フォルダのスキップができないときは、"ウォークマン"の「ミュージック」以下のサーチメニューの検索方法を「アーティスト」または「アルバム」にしてください。お使いの"ウォークマン"によっては機能しません。

²⁾ NW-S764/S765/S766、NW-S764K/S765K、NW-E062/E063、NW-E062K/E063Kのみ(2012年10月現在)

ご注意

- "ウォークマン"を抜き挿しするときは、WM-PORTコネクター **14)**の角度に沿ってまっすぐ抜き挿ししてください。また、WM-PORTコネクター **14)**が破損するおそれがあるため、"ウォークマン"をひねったり、反らせないようにご注意ください。
- "ウォークマン"を接続したままの状態、本機を移動しないでください。故障の原因となることがあります。
- "ウォークマン"を抜き挿しするときは、本機をしっかり手で押さえ、"ウォークマン"の操作ボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 本機のWM-PORTコネクター **14)**は、"ウォークマン"専用です。他社製のポータブルオーディオプレーヤーを接続しないでください。
- 音が出ないなどの問題が発生した場合は、本機から"ウォークマン"を取りはずし、接続し直してください。

- “ウォークマン”を本機で使用しているときは、“ウォークマン”のヘッドホン端子には音声は出力されません。
- FMチューナーやワンセグチューナー搭載の“ウォークマン”を本機で使用すると、放送が受信できなかったり、感度が低下することがあります。
- 音量は、本体またはリモコンの音量 + / - ボタン [9] を使って調節してください。“ウォークマン”側で音量を調節しても、音量は変わりません。
- “ウォークマン”を取りはずすときは、再生を停止してから取りはずしてください。
- 本機は“ウォークマン”の動作のすべてを保証するものではありません。

“ウォークマン”の曲を削除する

本機での削除に対応する機種をお使いの場合には、「録音した曲を削除するには」(42ページ)の手順に従って、曲やフォルダを削除することができます。ただし、“ウォークマン”内のすべての曲を削除できるものではありません。詳しくは、「削除可能なフォルダ/曲について」をご覧ください。削除に対応している“ウォークマン”については、「“ウォークマン”の再生・録音・削除対応機種について」(27ページ)をご覧ください。

お使いの“ウォークマン”が、本機での曲やフォルダの削除に対応していない場合は、表示窓に「NO SUPPORT」が表示されます。

「NO SUPPORT」のメッセージは、「録音した曲を削除するには」(42ページ)の手順に従って、曲削除ボタン [20] を押したあと、「CHECKING」のメッセージの後に表示されます。

「NO SUPPORT」が表示された場合は、パソコンで“ウォークマン”の曲やフォルダを削除することをおすすめします。パソコンでの削除について詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

削除可能なフォルダ/曲について

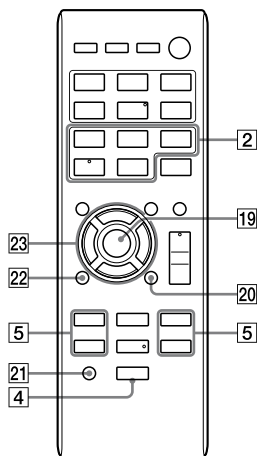
本機で削除できるのは、本機で録音した曲とフォルダ、パソコンから“ウォークマン”にドラッグアンドドロップして転送したMP3形式の曲やフォルダです。

- 以下の曲やフォルダは本機で削除できません。
 - X-アプリ(SonicStage)から“ウォークマン”に転送した曲やフォルダ
 - パソコンから“ウォークマン”にドラッグアンドドロップして転送したMP3形式以外の曲やフォルダ
 - 他のオーディオ機器から“ウォークマン”に直接録音したMP3形式以外の曲やフォルダ
- 本機が認識できるフォルダとファイル数は、ファイル数3000、フォルダ数300までです。“ウォークマン”に3000以上のファイル、300以上のフォルダが保存されている場合、本機が認識できる数以上のファイル、フォルダは表示窓に表示されません。“ウォークマン”のファイルやフォルダを削除するときに、表示されないファイル、フォルダがある場合は、ファイル、フォルダ数が上限数を超えていないか確認してください。

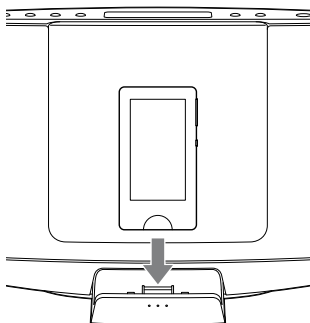
本機で録音した曲の保存先やファイル名については、「録音した曲の保存先について」(37ページ)と「フォルダ名とファイル名について」(37ページ)をご覧ください。

録音した曲を削除するには

録音した曲やフォルダを削除します。



- 1 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクター 14 に接続する。



- 2 ウォークマンファンクションボタン 2 を押す。

• 本体では、ファンクションボタ

ン 2 を繰り返し押して表示窓に「WALKMAN」を表示させます。

- 3 シフトボタン 21 を押しながら、曲削除ボタン 20 を押す。次のメッセージが順に表示されます。

CHECKING

“ウォークマン”内のデータ読み込み中



FLDR
SELECT



FLDR
FLDR/TRK

「フォルダ」または「トラック(曲)」を選択するメッセージ。選択するまで「SELECT」→「FLDR/TRK」が繰り返し表示されます。

「NO TRACK」が表示されたときは

“ウォークマン”に削除可能な曲がありません。詳しくは、「削除可能なフォルダ/曲について」(41ページ)をご覧ください。

- 4 ◀▶/▶▶ ボタン 5 または 𠂇 +/- ボタン 23 を繰り返し押して、削除したい曲またはフォルダを選ぶ。

表示窓に曲名またはフォルダ名が表示された後、続けてトラック数と「ERASE?」が交互に表示されます。

- 削除したい曲またはフォルダを変更したいときは、選び直してください。
- 「ERASE?」のメッセージは、手順5へ進むまで10秒間隔で表示されます。

5 ⊕ ボタン^[19]を押す。

「ERASE?」の確認メッセージが表示されます。

- 削除対象を変更したいときは、戻るボタン^[22]を押して手順4をやり直してください。
- 削除を中止したいときは、■ボタン^[4]を押してください。

6 ⊕ ボタン^[19]を押す。

表示窓に「ERASING」が表示され、選んだ曲またはフォルダの削除を開始します。削除が完了すると「COMPLETE」が表示されます

7 引き続き曲やフォルダを削除したいときは、手順4～6を繰り返す。

削除を終了するには

■ボタン^[4]を押して削除モードを解除します。

こんな表示が出たときは

- 「ERASE ERROR」が表示されたときは、「ウォークマン」の曲やフォルダの削除に失敗しています。
- 「FATAL ERROR」は、削除中に「ウォークマン」を取りはずしたときに表示されず。削除中に「ウォークマン」を取りはずさないでください。「ウォークマン」のデータが破損したり、「ウォークマン」本体が故障するおそれがあります。

ご注意

シフトボタン^[21]を押しながら、曲削除ボタン^[20]を押すと、「ウォークマン」の全データの読み込みが行われます。

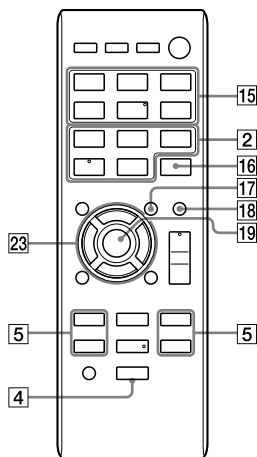
「ウォークマン」に多数のフォルダやオーディオファイルがあると、「CHECKING」の表示が消えるまで時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

- 手順3、4、5の操作中に■ボタン^[4]を押すと、操作を中断して削除を途中で止めることができます。
- 削除対象として曲またはフォルダを選んだ後も、削除実行前であれば、戻るボタン^[22]を押すことで、いつでも削除対象の未選択状態(「SELECT」→「FLDR/TRK」のみの表示状態)に戻すことができます。

その他の操作と設定

ラジオを聞く



ラジオ局を受信する

- 1 FMファンクションボタン[2]、またはAMファンクションボタン[2]を押して、ラジオバンドを選ぶ。

- 本体では、ファンクションボタン[2]を繰り返し押し、表示窓に「TUNER FM」または「TUNER AM」を表示させます。

- 2 選局モードボタン[17]を繰り返し押し、「AUTO」を表示させる。

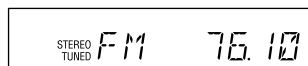
- ボタンを押すたびに「AUTO」→「PRESET」→「MANUAL」の順に選局モードが切りかわります。

- 3 +/-ボタン[5]を押す。

表示窓の周波数表示の数字が動き始めます。

- 本体では、選局 +/- ボタン[5]を押します。

ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」(受信中)と「STEREO」(FMステレオ放送のときのみ)が点灯します(オートチューニング)。



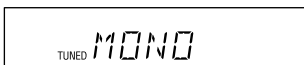
「TUNED」が点灯せずラジオ局を受信できなかったときは、■ボタン[4]を押して、以下の手順に従って手動で選局することもできます。

手動で選局する場合(マニュアルチューニング)

選局モードボタン[17]を繰り返し押し、「MANUAL」を表示させ、 +/- ボタン[5]を繰り返し押し、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

ちょっと一言

FMステレオ放送の雑音を低減するには、FMモードボタン[18]を繰り返し押し、「MONO」を表示させ、モノラル受信に切り換えてください。



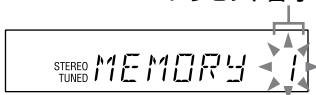
「MONO」が4秒間表示されます。

ラジオ局を登録する

お好みのラジオ局を登録しておくことができます。

- 1 登録したいラジオ局を受信する。
- 2 放送局登録ボタン 16 を押す。

プリセット番号



- 3 +/-ボタン 5 または $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタン 23 を繰り返し押して、プリセット番号を選ぶ。

- 本体では、選局+/-ボタン 5 を押します。

- 4 \oplus ボタン 19 を押して、登録を決定する。

「COMPLETE」が表示されます。

- プリセット番号1～6に登録したラジオ局は、リモコンのチューナーメモリー番号(1～6)ボタン 15 に自動的に登録されます。
- すでに登録済みのプリセット番号を選んだ場合は、新たに受信しているラジオ局の登録に置き換わります。

- 5 手順1～4を繰り返して他のラジオ局を登録する。

- FM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録することができます。

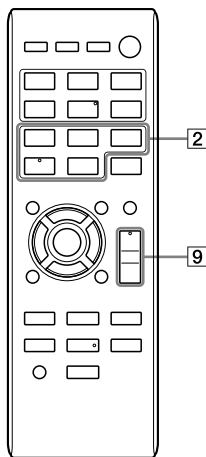
登録したラジオ局を聞くには

プリセット番号1～6に登録したラジオ局は、本機がFMまたはAMファンクションに設定されている状態で、リモコンのチューナーメモリー番号(1～6)ボタン 15 を押してください。登録したラジオ局とFMモードに切り換わります。

プリセット番号7以降に登録したラジオ局とFMモードは、選局モードボタン 17 を繰り返し押して「PRESET」

を表示させ、+/-ボタン 5 を押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選びます。

外部機器を接続して聞く



- 1 音量-ボタン 9 を押して、音量レベルを下げる。
- 2 別売りの外部機器を外部入力端子 B (17ページ)に接続する。
 - 別売りのオーディオ接続コードを使って、外部機器のオーディオ出力端子に接続します。
- 3 外部入力ファンクションボタン 2 を押す。
 - 本体では、ファンクションボタン 2 を繰り返し押して表示窓に「AUDIO IN」を表示させます。

4 外部機器の再生を始める。

- 再生が始まったら、外部機器側の音量を調節してください。

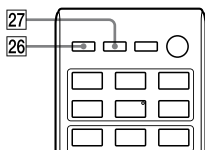
5 音量+/-ボタン $\text{\textcircled{9}}$ を押して、音量を調節する。

ご注意

外部機器の音量が小さすぎると、本機のオートスタンバイ機能によって自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能について」(20ページ)をご覧ください。

音質を調整する

好みの音に合わせてバスブーストやサウンド効果を設定します。



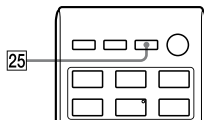
バスブーストを設定する

バスブースト(低音増強)を設定します。BASS BOOSTボタン $\text{\textcircled{26}}$ を繰り返して押して「ON」または「OFF」を設定します。

サウンド効果を設定する

SOUND EFFECTボタン $\text{\textcircled{27}}$ を繰り返し押しお好みのサウンドを選びます。ボタンを押すたびに「ROCK」→「POP」→「JAZZ」→「FLAT」の順に切り換わります。

表示窓の表示を切り換える



こんなときは 操作

表示窓で情報を見る*	電源「入」時に、表示 切換ボタン $\text{\textcircled{25}}$ を繰り返して押し。
------------	---

電源「切」時に時計を表示する	電源「切」時に、表示 切換ボタン $\text{\textcircled{25}}$ を繰り返して押し。約8秒間 時計が表示されます。
----------------	---

* CDやMP3ディスクの再生中は次のような情報を見ることができます。

CD-DAディスクの場合

- 再生している曲の残時間
- 総残時間

MP3ディスクの場合

- 曲名(「 $\text{\textcircled{♪}}$ 」)
- アーティスト名(「 $\text{\textcircled{人}}$ 」)
- アルバム名(「 $\text{\textcircled{箱}}$ 」)

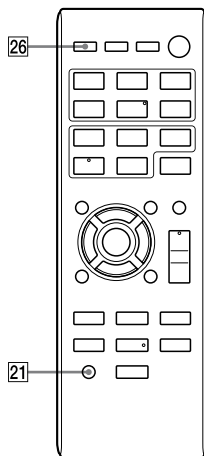
表示に関するご注意

- 本機で表示できない文字があった場合、アンダースコア「_」に置き換えて表示されます。
- 以下の情報は表示されません。
 - MP3ディスクの総演奏時間および残り時間
 - 曲(MP3ファイル)の残り時間
- 以下の情報は正しく表示されないことがあります。
 - VBR (Variable Bit Rate)の設定でエンコードされたMP3ファイルの再生経過時間

- ISO9660 Level 1/Level 2または Jolietの拡張フォーマットの命名規則に準拠していないフォルダ名、ファイル名
- 以下の情報は表示されます。
 - CD-DAディスクの総演奏時間(PGMモード以外での停止中)
 - 曲(CD-DAトラック)の残り時間
 - CD-DAディスクの残り時間(ノーマル再生での再生中)
 - MP3ファイルのID3タグの情報。ID3のバージョン1とバージョン2のタグが混在して使われている場合は、バージョン2のタグ情報が優先的に表示されます。
 - ID3タグの先頭から最大40文字。表示可能な文字の種類は、大文字(A～Z)、小文字(a～z)(小文字は大文字で表示されます)、数字(0～9)、記号(" \$ % ' () * + , - . / < = > @ [\] _ ' ?)です。2バイト文字は、アンダースコア“_”に置き換えて表示されます。また、一部の文字が特殊文字で表示される場合があります。

イマーは、本機の時計を合わせていない状態でも使用できます。

スリープタイマーを設定する場合は、シフトボタン $\boxed{21}$ を押しながら、スリープボタン $\boxed{26}$ を繰り返し押しして設定時間を選びます。ボタンを押すたびに、設定時間が90分～10分まで10分ごとに表示されます。スリープタイマーを中止したい場合は、「OFF」を選びます。



タイマーを使う

本機のタイマー機能には、スリープタイマー、再生タイマー、録音タイマーの3種類があります。

再生タイマーや録音タイマーが働いているときにスリープタイマーを使うと、スリープタイマーが優先されます。

タイマーの設定は、リモコンのボタンで行います。

スリープタイマーを設定する

指定した時間が経過すると、自動的に本機の電源が切れます。スリープタ

再生タイマー／録音タイマーを設定する

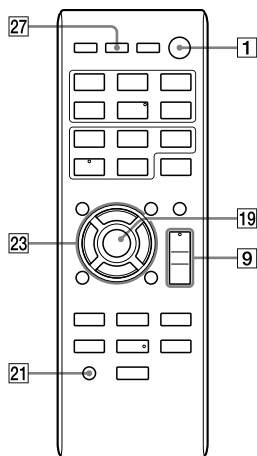
再生タイマー

指定した時刻に毎日自動的に音源をスタートさせ、CDやMP3ディスクからの音楽やラジオを聞くことができます。設定の前に、本機の時計を合わせてください。

録音タイマー

指定した時間からFM / AMラジオ放
次のページにつづく \blacktriangleright

送、外部入力(AUDIO IN)の録音を開始する録音タイマーを設定します。設定の前に、本機の時計を合わせ、「ウォークマン」を本体のWM-PORTコネクター 14に接続してください。



1 “ウォークマン”を本体のWM-PORTコネクター 14に接続する。

2 音源を準備する。

- 音源を準備し、音量+/-ボタン9を押して音量を調節します。音源として指定できるのは、再生タイマーはCD、FM、AMファンクションです。録音タイマーはFM、AM、外部入力(AUDIO IN)ファンクションのみです。
- ディスクの好きな曲だけを再生したいときは、プログラム登録をしてください。詳しくは、「好きな順に曲を聞く」(25ページ)をご覧ください。
- ラジオ局を音源にするときは、オートチューニング、マニュアルチューニング、登録済みのプリセットのいずれかの方法で、事前にお好みのラジオ局に周波数を合わせてください(44ページ)。

3 シフトボタン21を押しながら、時計/タイマー設定ボタン27を押す。

4 再生タイマーまたは録音タイマーを選ぶ。

- 再生タイマー
▲/▼ボタン23を繰り返し押しして「PLAY SET」を選び、⊕ボタン19を押す。
- 録音タイマー
▲/▼ボタン23を繰り返し押しして「REC SET」を選び、⊕ボタン19を押す。

開始時刻の時間が点滅します。

5 開始時刻を設定する。

- ▲/▼ボタン23を繰り返し押しして「時」を設定し、⊕ボタン19を押します。分表示が点滅したら、同様に「分」を設定します。

「分」の設定が終わると、終了時刻の設定に切り換わります。

6 手順5と同様の手順で終了時刻を設定する。

「TIME NG」が点滅表示されたときは

開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を設定し直してください。

7 音源を選ぶ。

- ▲/▼ボタン23を繰り返し押しして音源を選び、⊕ボタン19を押します。音源として指定できるのは、再生タイマーはFM、AM、CDファンクション、録音タイマーはFM、AM、外部入力(AUDIO IN)ファンクションです。

音源の設定が終わると、再生タイマーまたは録音タイマーの設定確認が表示されます。

8 I/Oボタン①を押して、電源を切る。

- 再生タイマーを設定した場合、音源をFM、AMに指定している場合は、タイマー開始時刻の約15秒前、音源をCDに指定している場合は、タイマー開始時刻の約30秒前に自動的に電源が入ります。
- 録音タイマーを設定した場合は、約90秒前に自動的に電源が入ります。
- 開始時刻に電源が入っていると、再生タイマーまたは録音タイマーは動きません。電源が入り音源の再生が始まるまで、本機の操作はしないでください。

タイマーの設定を確認するには

- シフトボタン②1を押しながら、時計/タイマー設定ボタン②7を押す。
- ★/★ボタン②3を繰り返し押して、「SELECT」を選び、⊕ボタン①9を押す。
- ★/★ボタン②3を繰り返し押して、「PLAY SEL」または「REC SEL」を選び、⊕ボタン①9を押す。
タイマーの設定が表示されます。

タイマーを中止するには

- シフトボタン②1を押しながら、時計/タイマー設定ボタン②7を押す。
- ★/★ボタン②3を繰り返し押して、「SELECT」を選び、⊕ボタン①9を押す。
- ★/★ボタン②3を繰り返し押して、「OFF」を選び、⊕ボタン①9を押す。

設定を変更するには

再生タイマー、録音タイマーの設定をやり直してください(48ページ)。

ご注意

- 再生タイマー、録音タイマーの音源に、オートチューニング(AUTO)またはマニュアルチューニング(MANUAL)を利用してラジオ放送局を指定した場合、再生タイマー、録音タイマーを設定した後にラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)を変更すると、再生タイマー、録音タイマー起動時の周波数やバンドも変更されます。
- 再生タイマー、録音タイマーの音源に、プリセット番号に登録済みの放送局から選んでラジオ放送局を指定した場合、再生タイマー、録音タイマーを設定した後にラジオ局の周波数やバンド(FM/AM)を変更しても、再生タイマー、録音タイマーには反映されません。再生タイマー、録音タイマー設定時の放送局に固定されます。

ちょっと一言

- 再生タイマーを設定すると、設定した時刻に毎日タイマーがスタートします。再生タイマーを中止したい場合は、「OFF」に設定してください。
- 録音タイマーは、1回のみ有効です。録音を開始する時刻を設定したい場合は、毎回録音タイマーを設定してください。

使用上のご注意・ 主な仕様

使用上のご注意

再生できるディスク

- 音楽用CD
- CD-R/CD-RW (CD-DAトラック
またはMP3ファイルの音楽データ)

データのないCD-R/CD-RWディスクを使用しないでください。ディスクにダメージを与えるおそれがあります。

再生できないディスク

- CD-ROM
- 音楽CDの規格に準拠していない形式で記録されたCD-RおよびCD-RWディスク、ISO9660 Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-RおよびCD-RWディスク
- マルチセッション方式で記録して、セッションクローズ処理をしていないCD-RおよびCD-RWディスク
- 記録品質の悪いCD-RおよびCD-RWディスク、傷、汚れのあるCD-RおよびCD-RWディスク、互換性のないレコーダーで記録したCD-RおよびCD-RWディスク
- 書き込み用ソフトウェアやレコーダーによる「ファイナライズ処理」が正常に終了していないCD-RおよびCD-RWディスク
- MP3形式(MPEG 1 Audio

Layer-3)以外のフォーマットのオーディオファイルが記録されたCD-RおよびCD-RWディスク

- 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- 中古ディスクやレンタルディスクで、セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの接着剤がはみ出したり、はがしたあとのあるディスク
- 盤面印刷で作成したラベルのインクが乾いていないディスク

CDの取り扱いかた

- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 市販のCDレンズ用クリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

設置時のご注意

- ぐらついた台の上や不安定な場所、振動する場所、ほこりの多い所、直射日光が当たる場所、湿度が高い所、湿気の多い所、風通しの悪い場所、極端に寒い所などには、本機を設置しないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本機を設置すると、変色、染みなどが残るこ

とがあります。

- 部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります(結露)。正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあるので、本機を使わないときは、ディスクを取り出してください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約1時間放置し、再び電源を入れ直してください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ACアダプターについてのご注意

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側面、底面が熱くなることがあります。このようなときは、火傷などのけがの原因となるため、キャビネットなどに触れないでください。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型ではありません。そのため、本機をテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こります。テレビから離してお使いください。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分

後に再び電源を入れてください。それでも色むらが残る場合は、本機をさらにテレビから離してください。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

重要

機器の名称や電気定格などは、底面に表示されています。

故障かな？と思ったら

本機を使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてください。メッセージ一覧(58ページ)も合わせてご覧ください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2 「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる

<http://www.sony.jp/support/netjuke/>で調べる。
最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3 それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CMT-V10
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していた音源(ディスクや“ウォークマン”など)：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

共通

電源が入らない。

- ACアダプターがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
- ACアダプターのDCプラグが本体にしっかりと差し込まれていますか？
- 付属品と異なるACアダプターを本体に接続していませんか？

気がつく则表示が消え、スタンバイモードになっている。

- 本機のオートスタンバイ機能によって、無操作または無音の状態が30分経過すると自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能について」をご覧ください(20ページ)。

時計設定や再生タイマー、録音タイマーの操作が突然キャンセルされる。

- 無操作の時間が約1分経過すると、時計設定や再生タイマー、録音タイマーの操作は自動的にキャンセルされます。始めから操作をやり直してください。

音が出ない。

- 音量+ボタン[9]を押して音量を上げてください。
- ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続していませんか？
- 外部入力端子に外部機器を正しく接続していますか？
- 本機のファンクションを、外部入力(AUDIO IN)に切り換えていますか？
- 一時的にラジオ局が放送を中止している場合があります。

ブーンという音がする、ノイズがひどい。

- テレビやビデオなどのノイズの原因になりやすい機器から本機を離して設置してください。
- ACアダプターを別のコンセントに接続してみてください。
- 別売りのノイズフィルターをACアダプターへ装着することをおすすめします。ノイズが低減できる場合があります。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体の間の障害物を取り除き、本体を蛍光灯から離して設置してください。
- リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください。
- リモコンを本体に近づけて操作してください。

CD/MP3ディスク

ディスクやファイルを再生できない。

- 「ファイナライズ処理」が行われていないディスク(書き込み済みのCD-RやCD-RWで、さらに書き込みが可能な状態のディスク)

音飛びする、再生が始まらない。

- ディスクが汚れている、またはディスクに傷がついている。汚れの場合は、拭き取ってください。
- 振動のない場所(安定した台の上など)に本機を設置してください。

再生が1曲目から始まらない。

- シャッフル再生、またはプログラム再生になっていないか確認してください。停止中に再生モードボタン[17]を繰り返し押すと、表示窓の

「PGM」または「SHUF」が消え、ノーマル再生に戻すことができます。

再生が始まるまでに時間がかかる。

- 次のような場合、ディスクの再生が始まるまでにしばらく時間がかかることがあります。
 - －ディスク上のファイル構造が極端に複雑になっている。
 - －マルチセッション形式で記録したディスク
 - －フォルダ数が多いディスク

“ウォークマン”

“ウォークマン”が充電されない。

- “ウォークマン”がWM-PORTコネクタ 14 に正しく接続されているかどうか確認してください。

“ウォークマン”に録音できない

- 「NO SUPPORT」と表示されるときは、お使いの“ウォークマン”が本機での録音に対応していません。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/>

録音が始まらない。

- 次のような原因が考えられます。
 - －“ウォークマン”に空き容量がない。
 - －録音可能なファイルやフォルダ数が上限に達している。

録音が完了前に停止してしまう。

- ファイルやフォルダ数が上限に達した。
- 本機の電源と“ウォークマン”の電源を入れ直してから録音をやり直してください。

- “ウォークマン”の空き容量がなくなった。

録音に失敗する。

- 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/>
- 本機の電源と“ウォークマン”の電源を入れ直してから録音をやり直してください。
- 録音中に、本機から“ウォークマン”をはずした。録音中にこのような操作を行うと、曲の途中まで録音された不完全なファイルが“ウォークマン”に残る場合があります。不完全に録音されたファイルを“ウォークマン”から削除し(42ページ)、録音をやり直してください。問題解決にあたっては、“ウォークマン”の取扱説明書も合わせてご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、“ウォークマン”の故障の可能性があります。お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- “ウォークマン”への録音や消去を多く繰り返すと、“ウォークマン”内部のファイル構造の断片化によって、録音動作に必要な連続した空き容量が確保できなくなり、録音に失敗することがあります。このような場合には、“ウォークマン”の不要データを削除するなどして空き容量を確保してください。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

“ウォークマン”からファイルやフォルダを削除できない。

- 「NO SUPPORT」と表示されるときは、お使いの“ウォークマン”が本機での削除に対応していません。
下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/>
対応機種以外の“ウォークマン”を使っている場合は、パソコン上で削除してください。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 削除中に、本機から“ウォークマン”をはずした、または“ウォークマン”の電源を「切」にした。削除中にこのような操作を行うと、正常に削除が行われません。削除をやり直してください。問題解決にあたっては、“ウォークマン”の取扱説明書も合わせてご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、“ウォークマン”の故障の可能性があります。お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

“ウォークマン”が正常に動作しない。

- 対応機種以外の“ウォークマン”を使うと、次のような問題が発生するおそれがあります。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/>
- “ウォークマン”が本機に認識されない。
- 曲名やフォルダ名(アルバム名)が表示窓に表示されない。
- 曲が再生されない。
- 音飛びする。

- ノイズが混じる。
- 音が歪む。
- 録音が途中で止まる。

音が出ない。

- “ウォークマン”が本機にしっかり挿し込まれていますか？
本機の電源を切り、“ウォークマン”を接続し直してください。

ノイズ・音飛びが発生する、音が歪む。

- 本機の電源と“ウォークマン”の電源を入れ直してから、“ウォークマン”を接続し直してください。
- 音源そのものにノイズや歪みがないか確認してください。ノイズは録音の過程で混入する場合があります。このようなときは、録音をやり直してください。
- 音量が大きすぎる。音量を下げ調整してください。
- “ウォークマン”のイコライザはオフでお使いください。オフ以外の設定で本機で使用すると、音の歪みやノイズの原因となることがあります。

曲名やフォルダ名(アルバム名)が正しく表示されない。

- 録音・転送した音楽データが破損している可能性があります。本機で録音した場合は、録音をし直してください。パソコンを使って“ウォークマン”に曲を転送したデータについては、転送をやり直してください。パソコンからの曲の転送のしかたについては、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。
- 本機で表示できる文字は、アルファベットと数字、一部の記号のみです。

表示できない文字は、アンダースコア“_”が表示されます。

“ウォークマン”が認識されない。

- 本機の電源と“ウォークマン”の電源を入れ直してから、“ウォークマン”を接続し直してください。
- 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。

<http://www.sony.jp/support/netjuke/>

- “ウォークマン”が正常に動作していない可能性があります。“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。問題が解決しない場合には、ソニーの相談窓口にご相談ください。

再生が始まらない。

- “ウォークマン”のホームメニューで「ミュージック」や「ポッドキャスト」など、ライブラリを選んで曲を再生し、停止状態にしてください。それから本機に接続し、▶ボタン^③（本体では▶||ボタン^③）を押してください。
- 本機の電源を切り、“ウォークマン”を接続し直し、再度本機の電源を入れてください。
- 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。下記ホームページの機種別サポートで対応機種を確認してください。

<http://www.sony.jp/support/netjuke/>

- 再生を開始しているか確認してください。開始していない場合は、▶ボタン^③（本体では▶||ボタン^③）を押して曲の再生を開始してください。

再生が1曲目から始まらない。

- “ウォークマン”の再生モードがシャッフルなどノーマル再生以外のモードにセットされていないか確認してください。“ウォークマン”の再生モードについては、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

ラジオ

雑音が入る(「TUNED」や「STEREO」が点滅する)、または放送が受信できない。

- アンテナを正しく接続してください。
- 受信状態のよい場所や方向を探し、アンテナを設置し直してください。
- アンテナを本体や他のAV機器から離してください。
- 本機の近くにある電気器具の電源を切ってください。

複数の放送局が同時に聞こえる場合。

- アンテナの場所や方向を調整してアンテナを設置し直してください。
- アンテナを(コードクリップなどを使って)束ね、長さを調整してください。

お買い上げ時の状態にリセットするには

「故障かな?と思ったら」の該当項目をチェックしても正常に動作しない場合は、次の手順で本機をお買い上げ時の状態にリセットしてください。本体のボタンを使ってリセットを行います。

- 1 ACアダプターをコンセントから抜き、再度接続して、電源を入れる。

- 2 ▶IIボタン③と本体のI/⏻ボタン
①を「RESET」が表示されるまで押し続ける。

ラジオ局のプリセット設定や時計、タイマーなどの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。リセットを行ってもまだ正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

メッセージ一覧

本機の使用中に、次のようなメッセージが表示、または点滅することがあります。

CANNOT PLAY

本機では認識できない形式のファイルを再生しようとした。

CHARGING

電源がオフの状態です。充電中であることを表示されます。

CHECKING

「WALKMAN」のときに、シフトボタン \square を押しながら、曲削除ボタン \square を押した。

「ウォークマン」内のファイルを読み込み、ファイルを削除するモードへ移行中です。

COMPLETE

- FM/AM局のプリセット登録が正常に完了した。
- 「ウォークマン」の曲、フォルダの削除が完了した。

DATA ERROR

再生不可能なMP3ファイルを再生した。

DEVICE ERROR

- 「ウォークマン」を本機から抜いて、再び接続し直してください。
- 本機で認識できないデバイスを接続した。

DEVICE FULL

「ウォークマン」の空き容量がない。

ERASE ERROR

「ウォークマン」の曲やフォルダ(アルバム)の削除に失敗した。

ERASING

「ウォークマン」から選択した曲またはフォルダを削除中です。

FATAL ERROR

曲の録音中や削除中に「ウォークマン」を取りはずした。

FOLDER FULL

録音可能なフォルダ数が上限に達している。

FULL

プログラム登録中に26曲目を登録しようとした。

NEW TRK

ラジオまたは外部入力からの音声を録音中に新しいトラックが作られた。

NoDEVICE

- 「ウォークマン」が接続されていない状態で、ウォークマン録音準備/スタートボタン \square またはウォークマン録音 CDワンタッチボタン \square を押した。
- 「ウォークマン」が接続されていないときに、シフトボタン \square を押しながら、曲削除ボタン \square を押した。

NO DISC

ディスクが入っていない、または本機では再生できないディスクをセットした。

NO STEP

プログラムが登録されていない。

NO SUPPORT

- お使いの“ウォークマン”が、本機での録音、本機での曲やフォルダの削除に対応していない。
- 本機が対応していないディスクを接続した。

NO TRACK

- “ウォークマン”に削除可能な曲がない。
- ディスクに本機で再生できるファイルが入っていない。

NOT USED

操作で禁止されているボタンを押した。

OVER

- ノーマルモードまたはフォルダーモードで再生しているときに、最後の曲の早送りが完了した。これ以上早送りできません。
- 「OVER」のメッセージが表示されているときに、◀◀ボタン[5]を長押しすると曲を早戻しできます。

OVER CURRENT

接続した“ウォークマン”から電源の異常を検出した。
“ウォークマン”を取りはずしたあと本機の電源を切り、再び電源を入れ直してください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

PLS WAIT

電源オフ時に表示切替ボタン[25]を押して時計を表示し、タイマーを設定しようとした。

PROTECT

電源の異常を検出した。
ACアダプターをコンセントから抜いてください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

PUSH START

本機は録音待機状態です。ウォークマン録音 準備/スタートボタン[7]を押して、録音を開始してください。

PUSH STOP

再生中に再生モードボタン[17]を押した。

READING

ディスクの情報を読み込んでいる。

REC ERROR

“ウォークマン”への録音が正常に行われていない。

RESET

本機をお買い上げ時の状態にリセット中です。

STANDBY

本機は電源オフ(スタンバイモード)中です。

TIME NG

再生タイマーの設定で、開始時刻と終了時刻を同じに設定した。

TRACK FULL

録音可能なファイル数が上限に達している。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは サービスへ

ソニーの相談窓口やお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではマイクロハイファイコンポーネントシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力

5 W + 5 W (8Ω、JEITA*)

入・出力端子

外部入力端子

ステレオミニジャック900 mV
(47 kΩ)

Ⓜ (ヘッドホン)端子

ステレオミニジャック8Ω以上

“ウォークマン”接続端子(WM-PORT)

WM-PORT搭載“ウォークマン”接続用、DC 5V、500 mA

CDプレーヤー部

形式

コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz

S/N比

80 dB以上

ダイナミックレンジ

80 dB以上

チューナー部

アンテナ端子

FMアンテナ

AMループアンテナ

受信周波数

FM : 76.0 MHz ~ 90.0 MHz
(100 kHzステップ)

AM : 531 kHz ~ 1,602 kHz
(9 kHzステップ)

スピーカー部

形式

フルレンジスピーカー : 80 mm
コーン型

定格インピーダンス

8 Ω

その他

電源(ACアダプター)

入力 : AC 100 V - 240 V、

50 Hz/60 Hz

出力 : DC 9.5 V 1.8 A

ACアダプターは「JIS C 61000-3-2適合品」です。

消費電力

13 W (通常動作時(JEITA*))

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き、最大突起部含む)

約 400 mm × 197 mm ×
114 mm

質量

約 2.4 kg

* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

付属品

リモコン(1) / リモコン用単3形(R6)乾電池(2) / ACアダプター (1) / AMアンテナ(1) / 取扱説明書(本書)(1) / ソニーご相談窓口のご案内(1) / 保証書(1) / ユーザー登録カード(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

待機時消費電力 : 0.5W



省資源

省エネ：オートスタンバイ機能搭載
省資源：包装体積55%削減(2011年度当社従来モデルCMT-S10比)
重量50%削減(2011年度当社従来モデルCMT-S10比)

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル.....0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話..0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル.....0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話..0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「306」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 4 4 3 2 2 6 2 0 3 * (1)